

盛岡中央高校

PTA会報



MORIOKA CHUOH HIGH SCHOOL
The Transaction of PTA

Vol.56

令和4年7月13日
盛岡中央高等学校
PTA会長 山本 里美
在校生徒数943名
〒020-0122
盛岡市みたけ四丁目26番1号
電話019-641-0458
URL <http://www.chuoh-hs.jp>



本校の制服を着た陵侑選手。サプライズにも気合いが入ります!!

小林陵侑選手帰校報告会

今年2月の北京冬季五輪スキージャンプ競技の男子個人ノーマルヒルで、本県初の個人種目金メダルを獲得するなどの偉業を果たした、本校平成27年度卒業生、土屋ホームスキー部所属の小林陵侑選手が来校してくれました。

2度目の県民栄誉賞授賞式や、北京五輪・パラリンピック報告会等多忙の中、少しの時間で帰校報告会を開催されました。帰校報告が開催される前に、本人の卒業コースである、あるクラスに転校するという設定でホームルーム

に入りサプライズ登場してくるなど、遊び心のあるドッキリをしてくれました。

帰校報告では、学校長からの紹介の後、小林陵侑選手からの今シーズンの総括についての話をいただき、その後、龍澤正美理事長からの表彰と本校スキー部部長の3A1R照井健流からの花束の贈呈が行われました。終わった後は、中学、高校の生徒からの質問に冗談交じりに気さくに答えるなど、終始和やかな雰囲気の中、報告となりました。

スキー部顧問 伊東雄一

照井 健流(3A1R)

今回の帰校報告会で、私は初めて金メダリストと会うことができた、他の人と比べ物にならないくらいオーラを感じました。そして、スキー部主将として花束を渡すことができても光栄に思っています。金メダルを取った瞬間、私はインターハイ前の合宿で岩手県チームで見ていて、皆で喜び自分達も頑張ろうという意欲にもつながり、たくさんの方に勇気をあたえる選手のかっこ良さを知りました。自分も先輩のようなスキーヤーになれるように努力し、次また中央高校に遊びに来てくれる時に報告したいです。あらためて、中央高校に来てくれたことに感謝しています。

泉田 琳(2A3)

5月17日、本校の卒業生である、スキージャンプの小林陵侑選手が本校を訪れ、北京オリンピックの報告会をして

下さいました。

私は報告会だけとと思っていましたが、私達のクラスに転校生が来て下さったかのように、陵侑選手が来て下さりとても驚きました。私服ではなく、中央高校の制服を着用していたので、いつもテレビで見るとは少し違った一面を見るのが嬉しかったです。全校で行った報告会では、とても楽しそうに話していて、見ている私も自然と楽しいくなり、良い経験になったと思います。生徒の多種多様な質問もたくさん答えて下さり、テレビでスキージャンプをしてる陵侑選手とは全く違う姿を見るのができました。

今回行われた北京オリンピックの報告会で様々なことを学ぶことができたので、私達も陵侑選手のようなBIIGな人になるために、今回学んだことを生かして生活していきたいです。

「ご挨拶」



校長 千葉 研二

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。ことに衷心より感謝申し上げます。

さて、令和四年度は三百九十九名の新入生を迎え全校生九百四十七名でスタートいたしました。新入生は百六十二名増、全校でも百二名の増となり、多くの方々から中央高校を選んでいただいたこと、大変うれしゅうございます。四月七日の入学式は、コロナウイルス感染防止対策のもと、マリオスで附属中学校と合同で挙行

することができました。人数制限のためお子様の晴れの姿を楽しみにされておられたご家族の皆様には大変申し訳なく、この場をお借りしてお詫言ひ申し上げます。このような状況の中、体育大会、昇龍祭は感染防止に万全の対策を講じながら実施したところです。国際教育フォーラムは本年度もオンライン開催としました。三年生は、入学式からこれまでコロナ感染の影響を最も受けてきました。早くも卒業後の進路を決定しなければならぬ時期になりましたが、思い描いていた夢の実現に向けて鍛えた精神力や継続する力で中央魂を発揮して、頑張ってくださいと願っております。

最後になりましたが、教職員一同、全力を持って、躍進する中央高校の未来を創るべく取組んで参ります。重ねて保護者の皆様のご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

会長挨拶



PTA会長 山本 里美

日頃より、PTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度PTA会長を仰せつかりました山本里美と申します。このような大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。至らない点もあると思いますが他のPTA役員の方や先生方・保護者の皆様と協力して子どもたちの学校生活が充実したものにしたいと思っております。

コロナウイルス感染症も一向に終息する様子も見せずwithコロナの状況になっております。皆様も感染拡大を抑えるために日々努力を重ねられているものとお察し申し上げます。これまでにない「新しい生活様式」を踏まえて我々は「親として子どもたちのために何が出来るのか？」それぞれが今できることを常に考え行動していかなければならないと思っております。

最後になりますが、コロナ禍で何となく閉塞感が漂う中、従来の活動が縮小されてしまいく物足りなさを感じる毎日ですが、私ができることは皆様の力を借りて子どもたち、保護者の学校の架け橋となるPTA活動を目指し、明るく元気に活動していきたいと思っております。一年間どうぞよろしく申し上げます。

グローバル教育

◆イングリッシュキャンプ・プロブレム・ソルブメントプログラム(British hills)



令和3年度12月22日(水)から24日(金)にかけて、本校2コースの1学年生徒を対象にイングリッシュシャワープログラムを実施しました。

福島県のブリティッシュヒルズにて、研修施設での生活やレッスン、外国人講師との交流を体験しました。

生徒達は当初こそネイティブな英語の発音や速度に不慣れでしたが、実践的な英語力の定着や異文化理解のため、レッスン内外を問わず積極的に講師に質問し、発音やリスニング・英作文の練習に役立っていました。

今回の体験を通し、生徒達が国際交流活動への関心を高め、そのために海外でも通用する実践的なコミュニケーション能力を育む一助となるよう期待しています。

菊池 亨

— 生徒の感想 —

齋藤直生(2Z2)

今回ブリティッシュヒルズに行ってみて、色々な文化の違いや生活の違いを知ることができた。1つ目は言葉の発音やスピードで、いつも考査や模試のスピーキングよりかなり早く、単語と単語が繋がった感じで話していたりと、内容の理解がとても難しかった。2つ目は生活の中の文化の違いだ。例えば食べ方のマナーについては、食器皿を持ち上げずに食べる。カトラリーを落としたり拾わずに静かに手を上げて知らせるなど、日本には無い上品な文化だった。3つ目は海外の先生達は全員ユーモアがあることだ。日本の先生達は気堅く、怖い感じだが、海外の先生達はメリハリがすごく、急に真剣になったと思ったら、急に緩くなって上手いジョークをまけてきたりと、ただの授業が楽しく思える。

このように同じ日本にあるけど全く違う国に行ったようすごく楽しかったし、すごく勉強になった。これからもし外国に行くことがあれば、今回学んだ事を生かしていきたい。

佐藤晴紀(2Z1)

英語が他の教科と比べて得意な僕にとってこのプログラムはかなり楽しみでした。4時間半ほどバスに揺られ、山の中をぐんぐんと進みました。途中、圏外になり、「山すぎっ」と思いま

したが、ついに到着するとまるでハリウッドのような造りの大きな洋館がそこにはありました。到着してすぐに英語で部屋に通されてとてもワクワクしました。僕は海外の方のユーモアに富んだ雰囲気がとても好きなのでホテルの方々が明るくてそれを感じられてとても嬉しかったです。ホテルの中は広く個々の部屋も満足のできるものでした。ホテルの講師の方々はとても面白く、より実践的な英語を僕たちに教えてくださりました。ネイティブな英語がとても貴重でした。そしてすべての食事がナイフとフォークを使って食べなくてはならない事がとても楽しくクラスの仲間と食卓を囲むのが良かったです。2泊3日が無事に成功してとても良かったです。この経験を今後を生かしていきたいです。

工藤心愛(2Z1)

イングリッシュシャワープログラムを終えての感想は、普段の学校の授業では味わえない英語を身近で勉強することができ、とてもいい経験となりました。自分から英語で質問することは勇気がいりましたが、数回ほど簡単な英文で聞きに行くことが出来たので良かったと思います。また、全ての説明、文が英語のため理解するのに時間がかかりましたが少しずつ慣れ、だいぶリスニング力が身についたと思います。また授業の方では、先生方はとても明るくわかりやすく教えてくれたので、安心して楽しく聞い

ていることができました。

海外研修に行けなかったのは残念でしたが英語を楽しく勉強できたので良かったです。また、さらに自分で質問文を作る練習をしたり、発音やリスニングの練習もしてみたいと思いました。いつかこのような機会がまたあったら今回よりも力をつけてから挑みたいと思います。

前川陽菜(2Z1)

まず、中学生のときはコロナで修学旅行がなくなったり、いろいろな行事が中止になっていたりしていたので、2泊3日で学校行事としてブリティッシュヒルズに行くことができてとても良い思い出になった。初めてだったのでどんな所か気になっていたけれど、雰囲気がすごくイギリスで本当にイギリスにいるような感じだった。レッスンの内容は、ゲームやもの作りなど面白いものばかりだったし、最初は英語を聞き取るのが少し大変だったけれど、だんだん聞き取れるようになって楽しかった。難しい文を作ることはできなくても簡単な文で話しかけるだけで英語が伝わってうれしかったし、積極的に話すことが大切なんだなと思った。食事のときは、フォークとナイフで食べないといけなかったので3日間あったけれどなかなか最終日まで慣れなくて大変だった。でも、テーブルマナーを学んで知らなかった事を知れて良かった。大変な事もあったけれど良い経験になったと思う。

◆ESHPowermentプログラム

5月9日(月)～5月13日(金)アイーナにてISAエンパワーメントプログラムを実施しました。このプログラムは昨年度Rコースで行っていたものですが、集中英語プログラムとしてVコースでもぜひ実施したいと思い、今年度の実施に至りました。プログラムの内容は以下のように行いました。



イングリッシュで行われます。英語が得意な生徒はその能力を生かして活躍し、英語が苦手な生徒はchallenge的な内容にもジェスチャー等を使いながら頑張っている姿が印象的でした。英語力は当然ながら、異文化理解、多様性、人前で話すこと、自己理解など非常に多くのことを学ぶ機会でありました。

Vコース長 佐々木進二郎

1日目	・ゴールの設定・効果的な英語プレゼンテーションについて学ぶ ・自己紹介プレゼンテーションに挑戦
2日目	・グループリーダー(留学生)について知る ・Positive Thinkingについて考える
3日目	・My identityについて考える ・Leadershipについて考える ・理想の学校を作ろう(グループプレゼンテーション)
4日目	・フードロスについて考える ・自分の将来の目標と学ぶことの意義を考える
5日目	・ダイバーシティとは何か ・まとめのソロプレゼンテーション(全員)

— 生徒の感想 —

藤原和花(3A2R)

私はブリティッシュヒルズへの2日間の語学研修を通して沢山のことを体験し有意義な時間を過ごすことが出来ました。ブリティッシュヒルズでの授業はオールイングリッシュで友達との会話も英語でしなければいけなかったので会話中に何度も辞書を引きながら改めて自分の語彙力の低さに気付かされる日々でした。それに伴い知らなかった英単語を理解できるようになりちょっとではありましたが、昨日の自分より成長を感じられることが授業のモチベーションにもなりました。また、英国文化はもちろん、英国以外の海外の多様な文化にも触れることができ楽しく知識が吸収できました。新型コロナウィルスが流行するなか「より多くの経験を」とブリティッシュヒルズへの語学研修に行かせて下さった先生方に感謝します。

— 生徒の感想 —

- プレゼンテーションへの準備時間が少なかったけど、短い時間設定の瞬発的な思考力・構成力が身についた。
- 初日は質問をされてもほとんどの人が手を挙げなかったのに、最終日には当てきれないほどたくさんの方が手を挙げていて驚いた。
- エンパワーメントプログラムは文句なしの楽しさだった。
- グループリーダー(留学生)たちは失敗を恐れてしまう日本の雰囲気をうまく打ち消してくれた。

- 今回のプログラムは英語の上達はもちろん、自発的に自分を相手に伝えるためのものだったと感じた。
- まさにこのプログラムでempowerされる事が出来ました。
- 休み時間も会話するなど、中学校時代はあまりできなかった2期生との交流が持てよかった。
- グループリーダーの人たちは自分たちが話す意見に対して、必ずいい反応を示してくれ、決して否定することはありませんでした。/素早く考え、素早くまとめる力ができました。/英語力・プレゼン力・思考力・リーダーシップなど様々な能力を身につけることが出来ました。

●体験型英語学習(British hills)

福島県のBritish hillsにおいて、オールイングリッシュの環境でコミュニケーションスキルアップを図るとともに、文化だけでなく、教科を「英語で学ぶ」ことを体験する貴重な時間となりました。

国際コース長 石川 圭郎

各コース紹介

特進選抜SZコース

高みを目指す向上心
 特進選抜SZコースは、難関大学・医学部等を目標とするコースです。高い志をもった仲間たちとの切磋琢磨を通しての成長が期待できます。昨年度はSZコースから東北大学文学部や秋田大学医学部医学科をはじめ多くの難関大学に現役合格者がでていました。また、高い目標を持ち、継続し続ける生徒も多く、卒業後も努力を重ね、東京大学や一橋大学に合格しています。朝8時から朝学習に始まり、週5日の7時間授業の後に放課後講座にも取り組んでいます。学習だけでなく、生徒会活動や委員会活動、部活動でも中心として活躍する生徒もいます。1年生は東京海洋大学の小松教授をお招きしてのアクティブラーニング講座が始まりました。2年生は10月にEnglish Shower Programが予定されています。1年生は7月25日から2泊3日、2



年生は7月28日から3泊4日、3年生は8月1日から3泊4日の予定で安比高原にて学習合宿を行います。今後も先輩たちと同様、成長してくれるものと思います。
特進選抜SZコース長
 小笠原 正浩

東医Vコース

中高一貫コースとして
 東医Vコースは中央高校附属中学校から進学した内進生のみで構成されているコースです。4月に2期生24名を迎えてコースとしての2年目がスタートしました。本コースは「東医」という言葉を冠しており、その名の通り東大・京大・医学部を中心とした最難関大学合格へ向けて志高く学習に励むコースです。中高一貫の利点を生かした先取りカリキュラムを通して、ハイレベルな学習を行います。しかし、「進度」が速いだけではありません。各単元を深掘りして学習することで「深度」も追及しています。今年度はISAエンパワーメントプログラムやV選抜特講などの行事を新設し、第一志望合格へ向けたプログラムをより充実させて提供していきます。来年度は1期生



エンパワーメントプログラムにての様子

が3年生になりコースとして初めて大学入試結果が出る年期待しています。
東医Vコース長
 佐々木 進一郎

進学選抜Aコース

充実した高校生活と悔いのない進路選択を
 今年から進学総合Bコースが復活となり、進学選抜Aコースも再度設置されました。そのため、進学選抜Aコースは1、3年生が在籍するコースとなりました。1年生は高校生活にも慣れてきた生徒も多く見られ、新しい環境下でも楽しみながら勉強に、部活動に邁進している様子が見られています。今後の進路目標を決めるための一助となるよう、県外大学の見学会も予定しております。3年生は、受験に向けて本格的に動き出しています。自身の志望校を決め、一般受験だけでなく推薦型や総合型などの各種受験に必要な教科を学び、合格に向けて具体的な行動を取り始めています。昨年度のコロナ禍で修学旅行に



行けなかった分、受験勉強と楽しみを両立させる機会として夏休みに学習合宿を計画中です。両学年とも、さらに大きく成長できるよう、多くの機会を作ってあげたいと考えております。
進学選抜Aコース長
 中村 祐史

特進Zコース

進路目標達成のために
 特進Zコースでは、生徒の進路目標達成のために、学向上だけでなく、様々な活動を通して多面的思考力を育成し、問題を解決する力を育成しています。昨年度はコロナ禍のために多くの行事が中止になりました。そんな中でも、1年生の震災学習やイングリッシュシャワープログラム、3年生の学習合宿を実施することができました。特に1年生の震災学習では、震災当時の話を聞いて、改めて自然体外に對して防災意識を高めるとともに、震災の記憶を風化させないためにどうしたらよいか、考えたいようです。今年度は3年生のみだけ地区清掃ボランティア活動を実施し、この活動を通して地域の一員であることを実感するとともに、ゴミの投げ捨てについて考えていました。また、



震災学習でのボランティア活動

今後はイングリッシュシャワープログラム、岩手県立大学見学会、弘前大学オープンキャンパス参加などを計画しております。一つでも多くの行事を行い、これらの活動を通して、生徒たちが将来を見据えた志望を持ち、その実現に向けて日々精進することを期待します。
特進Zコース長
 朝日田 光晴

進学総合A・Bコース

社会で通用する人材育成を目指す
 昨年度選抜Aコースと総合Bコースが合併して進学総合コースとなりましたが、今年度の1年生は従来の総合Bコースのみのクラスとなりました。1・3年生と2年生が別のカリキュラムで授業を受けますが、クラブ活動に大半の生徒が所属していますので、整容・礼儀・挨拶に重点をおいて指導をおこなっています。北京オリンピックで金・銀メダルを獲得した小林陵侖選手・楽天イーグルスの銀次選手をはじめプロ・アマとおし、各種競技で活躍している卒業生はほとんどが総合Bコースの出身です。各競技大会の実績をもって大学進学を実現し、知識を身につけ就職に役立っている卒業生も数多くいます。また、知識・資格習得のため大学・専門学校見学・各種



検定・模試等にも積極的に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種大会に向けた練習が思うように計画できず、苦労している場面も多々見られますが、今年度も各種大会で活躍を期待できる生徒も多くいますので、今後の活躍に期待をさせていただきます。
進学総合A・Bコース長
 高橋 亨

国際Rコース

岩手から世界へ
 「岩手から世界へ」をスローガンとして掲げ、日本人としての自覚を持ちながら国際社会へ積極的に関わっていくことをする生徒の育成を目標としています。国際Rコースでの英語学習は、英語という語学の習得を目標とするのではなく、「英語で学ぶための言語スキルの向上を目的としています。そのため、国際Rコースの英語学習のほとんどはネイティブ教員によって実施され、通常の英語単位に加えてアカデミッククラウン等を設定し、実践的な英語学習の機会を多く取り入れています。また、昨年まで実施していた様々な英語活動行事に加えて、新たにコミュニケーション&スピーチスキルアップ講座に加え、「自分の意見を相手に伝える」ためのスキルを習得することにも、英語でコミュニケーションを図るための積極性の醸成



も目指しています。今年度は様々な規制が緩和されており、留学プログラムはカナダ以外も選択できるようになります。留学を選択しないスキルアップグループの海外活動も予定されています。このような環境の中で最大限学んでほしいと思います。
国際Rコース長
 石川 圭一郎

第74回 高総体結果

【サッカー部】

ベスト8
 2回戦 盛岡中央7-0久慈 久慈東
 3回戦 盛岡中央6-0盛岡第一
 準々決勝 盛岡中央0-1盛岡誠桜



【卓球部】

(男子) 学校対抗
 1回戦 盛岡中央1-3宮古
 (女子) 学校対抗
 1回戦 盛岡中央3-1大東
 2回戦 盛岡中央3-0種市
 3回戦 盛岡中央0-3盛岡市立
 (個人戦) グブルス
 渡邊康恵 2S2
 1回戦 対 大野 3-0
 2回戦 対 盛岡市立 0-3
 (個人戦) シングル
 大崎利心(1A2)
 1回戦 対 軽米 0-3

【テニス部】

(団体) 盛岡中央0-3水沢第一
 1回戦 シングル
 坂東大輝 1回戦敗退

【バスケットボール部】

1回戦 盛岡中央49-17大野
 1回戦敗退

【バドミントン部】

(団体戦) 盛岡中央3-0盛岡スコーレ
 1回戦 盛岡中央0-3釜石商工
 (団体戦) 女子
 1回戦 盛岡中央0-3大東

【陸上競技部】

男子1500m
 5位 千葉大門(3A1R)
 東北大会出場
 女子七種競技
 7位 藤原和花(3A2R)

【ハンドボール部】

ベスト16
 2回戦 盛岡中央2-0北上翔南
 3回戦 盛岡中央0-2不来方

【柔道部】

(個人戦) 3位 成田謙伸(1A1)
 優勝 菊池大太郎(2A1)
 準優勝 山田力丸(2A2)

【女子柔道部】

(個人戦) 3位 菊池大太郎(2A1)
 優勝 菊池大太郎(2A1)
 準優勝 山田力丸(2A2)

【剣道部】

(個人戦) 瀬々木創成(3Z3) 4回戦敗退
 3位決定戦 瀬々木創成(3Z3) 3回戦敗退
 大澤裕(3Z2) 1回戦敗退
 (団体戦) 盛岡中央0-4盛岡第四
 盛岡中央3-1遠野緑峰
 予選1リーグ敗退

【ソフトテニス部】

1回戦 盛岡中央2-1釜石
 2回戦 盛岡中央0-3黒沢尻北
 (団体戦) 女子
 1回戦 盛岡中央1-2専大北上
 (個人戦) 女子
 浅沼伽那(3S2) 山本愛(1Z3)
 2回戦敗退

【バレーボール部】

盛岡市民体育大会バレーボール競技
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【卓球部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バドミントン部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バレーボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【ソフトテニス部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央2-1釜石
 2回戦 盛岡中央0-3黒沢尻北
 (団体戦) 女子
 1回戦 盛岡中央1-2専大北上
 (個人戦) 女子
 浅沼伽那(3S2) 山本愛(1Z3)
 2回戦敗退

【ハンドボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【卓球部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バドミントン部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バレーボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【ソフトテニス部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央2-1釜石
 2回戦 盛岡中央0-3黒沢尻北
 (団体戦) 女子
 1回戦 盛岡中央1-2専大北上
 (個人戦) 女子
 浅沼伽那(3S2) 山本愛(1Z3)
 2回戦敗退

【ハンドボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【陸上競技部】

男子1500m
 5位 千葉大門(3A1R)
 東北大会出場
 女子七種競技
 7位 藤原和花(3A2R)

【ハンドボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【卓球部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バドミントン部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バレーボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【ソフトテニス部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央2-1釜石
 2回戦 盛岡中央0-3黒沢尻北
 (団体戦) 女子
 1回戦 盛岡中央1-2専大北上
 (個人戦) 女子
 浅沼伽那(3S2) 山本愛(1Z3)
 2回戦敗退

【ハンドボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【卓球部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バドミントン部】

盛岡市民体育大会
 (個人戦) シングル
 5位 飯岡健太(3B2)

【バレーボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【ソフトテニス部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央2-1釜石
 2回戦 盛岡中央0-3黒沢尻北
 (団体戦) 女子
 1回戦 盛岡中央1-2専大北上
 (個人戦) 女子
 浅沼伽那(3S2) 山本愛(1Z3)
 2回戦敗退

【ハンドボール部】

盛岡市民体育大会
 盛岡中央0-2不来方B
 盛岡中央1-2盛岡工業
 盛岡中央0-2不来方A
 盛岡中央0-2盛岡南B

【各種大会】

●第69回春季東北地区高等学校野球
 球選手権大会盛岡地区予選
 盛岡中央10-3盛岡南7C
 2回戦 盛岡中央3-2盛岡工業
 盛岡中央2-0盛岡第一
 盛岡中央9-3盛岡市立
 ●第69回春季東北地区高等学校野球
 球選手権大会
 盛岡中央1-9久慈東8C
 1回戦 盛岡中央1-9久慈東8C

【ゴルフ部】

若手県アマチュアゴルフ選手権
 後藤羽翼(2A2)
 佐藤諒太郎(3A1R)
 菊池諒太郎(3A1R)

【スキー部】

若手県高等学校スキー大会
 吉田朱里(旧3Z3)
 佐竹諒一郎(旧3Z3)
 佐竹諒一郎(旧3Z3)

【馬術競技】

第74回若手県民体育大会馬術競技
 競技名 第6競技 少年スピード
 1位 船橋友希那(2Z1)
 団体名 グレイトルホルホースチーム
 馬名 グレイトルホルホースチーム
 タイム 65.30
 2位 船橋友希那(2Z1)
 団体名 グレイトルホルホースチーム
 馬名 グレイトルホルホースチーム
 タイム 68.07

【囲碁将棋部】

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

【射撃部】

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

【軽音楽部】

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

【吹奏楽部】

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

【囲碁将棋部】

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

【射撃部】

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

【軽音楽部】

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

【吹奏楽部】

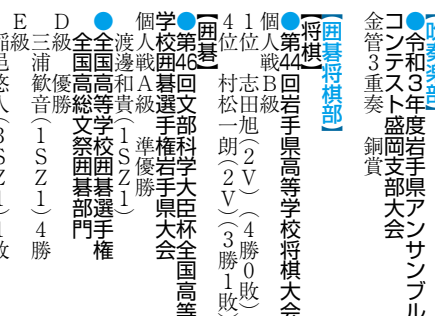
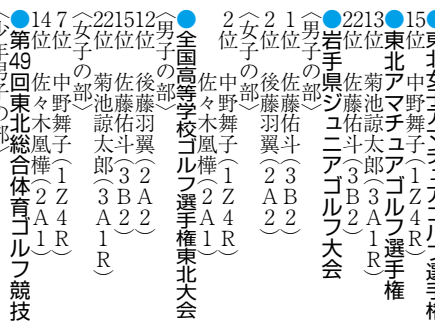
令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

【囲碁将棋部】

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

【射撃部】

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞



田村親沙(2SV)
 前田佑菜(2SZ)

若手県アマチュアゴルフ選手権
 後藤羽翼(2A2)
 佐藤諒太郎(3A1R)
 菊池諒太郎(3A1R)

若手県高等学校スキー大会
 吉田朱里(旧3Z3)
 佐竹諒一郎(旧3Z3)
 佐竹諒一郎(旧3Z3)

第74回若手県民体育大会馬術競技
 競技名 第6競技 少年スピード
 1位 船橋友希那(2Z1)
 団体名 グレイトルホルホースチーム
 馬名 グレイトルホルホースチーム
 タイム 65.30
 2位 船橋友希那(2Z1)
 団体名 グレイトルホルホースチーム
 馬名 グレイトルホルホースチーム
 タイム 68.07

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

第44回若手県高等学校将棋大会
 個人戦B級
 志田旭(2V)(4勝0敗)
 村松一期(2V)(3勝1敗)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

全国高等学校軽音楽部対抗ハン
 ドバトル2021冬の陣
 ベストプレイヤー賞ベイス部門
 3位 藤原真子(3SZ1)
 審査員特別賞(Guitar)
 小西倫加(3SZ1)

令和3年度若手県アンサンブル
 コンテスト盛岡支部大会
 金管3重奏 銅賞

教職員紹介

管理職

 校長 千葉 研二	 副校長 与座 宏章 地歴公民	 教頭 氷見 浩一 国語 (ソフトテニス)	 教頭 熊倉 秀紀 外国語 (応援チアダンス)	 副教頭 及川 満洋 保健体育 ソフトボール	 副教頭 小原 祐一 保健体育 サッカー	 副教頭 吉田 幸彦 地歴公民 卓球
-----------------	--------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	--------------------------------

東医Vコース

 1V正 久保田 悠介 国語 文芸	 2V正 佐々木 進一郎 外国語	 V副 片岡 順一 理科 科学
-------------------------------	---------------------------	-----------------------------

特進選抜SZコース

 1SZ1正 岩崎 聡史 数学 さんさ同好会	 1SZ1副 熊倉 秀紀 外国語 (応援チアダンス)	 1SZ2正 玉山 光典 理科 科学	 1SZ2副 佐々木 恵 国語 さんさ同好会	 2SZ正 野寄 裕 数学 合唱	 2SZ副 高橋 勝弘 理科 囲碁・将棋	 3SZ1正 佐藤 律子 国語 芸術	 3SZ2正 小笠原 正浩 数学 バドミントン	 3SZ副 晴山 幸弘 外国語 芸術
------------------------------------	--	--------------------------------	------------------------------------	------------------------------	----------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

クラス
氏名
担当教科
担当クラブ

★は新任の先生
◎はコース長
■は学年長

特進Zコース

 1Z1正 伊東 雄一 地歴公民 スキー	 1Z1副 藤原 陽子 家庭科 家庭	 1Z2正 杉田 陽子 保健体育 ハンドボール	 1Z2副 糸井 真一 理科 茶道	 1Z3正 片岡 慧祐 数学 軽音楽	 1Z3副 成田 明伸 国語 テニス	 1Z4正 田村 紘大 外国語 ソフトボール	 1Z4副 及川 満洋 保健体育 ソフトボール	 2Z1正 菊池 亨 地歴公民 ソフトボール	 2Z1副 北川 貢 保健体育 陸上競技
 2Z2正 梅木 翔太 数学 ソフトテニス	 2Z2副 氷見 浩一 国語 ソフトテニス	 3Z1正 佐々木 美咲 外国語 卓球	 3Z1副 山崎 元 地歴公民 応援チアダンス	 3Z2正 中嶋 尚樹 外国語 ディベート	 3Z2副 熊沢 直哉 保健体育 スキー(スケート)	 3Z3正 朝日田 光晴 理科 ゴルフ	 3Z3副 高松 博明 数学 合唱		

常勤講師

 谷口 和美	 フォン・ジェイダ
-----------	--------------

進学留学・国際Rコース

 1Z4R正 田村 紘大 外国語 ソフトボール	 1Z4R副 及川 満洋 保健体育 ソフトボール	 2R正 石川 圭一郎 地歴公民 テニス	 2R副 及川 満洋 保健体育 ソフトボール
 3A1R正 神 隼人 国語 バレーボール	 3A2R正 中村 祐史 理科 少林寺拳法	 3AR副 吉田 幸彦 地歴公民 卓球	

進学選抜Aコース

 1A1正 村田 大 保健体育 サッカー	 1A1副 山田 智 理科 陸上競技	 1A2正 中森 淳 数学 吹奏楽	 1A2副 本間 崇朗 地歴公民 硬式野球
 3A1R正 神 隼人 国語 バレーボール	 3A2R正 中村 祐史 理科 少林寺拳法	 3AR副 吉田 幸彦 地歴公民 卓球	

ファティマ・カーン

ALT

 エリッサ・ホフマン	 ダニエル・メース
---------------	--------------

養護教諭

昆 冴香

事務

 伊藤 文彦	 大友 かほる
 柝澤 朗子	 橋本 直樹

進学総合A・Bコース

 1B1正 高橋 亨 地歴公民 ゴルフ	 1B1副 工藤 洸 地歴公民 サッカー	 1B2正 加藤 操 理科 バドミントン	 1B2副 川手 祐輔 地歴公民 ソフトボール	 2A1正 佐々木 万実 保健体育 柔道	 2A1副 松野 勝彦 情報 硬式野球	 2A2正 長澤 英胤 保健体育・芸術 柔道
 2A2副 齊藤 匡郎 国語 ソフトテニス	 2A3正 村上 成也 数学 囲碁・将棋	 2A3副 中野 浩 情報 バレーボール	 3B1正 門前 直樹 外国語 ハンドボール	 3B1副 小原 祐一 保健体育 サッカー	 3B2正 久保田 豪 保健体育 柔道	 3B2副 米澤 守 地歴公民 硬式野球



令和4年度入試 合格実績

東京大学文科二類 合格!

一橋大学・東北大学・東京工業大学・お茶の水女子大学・医学部医学科3名 合格!

令和4年度入試総括

令和4年度入試は、4年ぶりの東京大学合格をはじめ、一橋大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、慶應義塾大学、早稲田大学などの難関大学、東北大学や秋田大学医学部医学科・岩手医科大学医学部の現役合格などを果たすことができました。

一般選抜では、2年目となる大学入学共通テストが行われ、数学や生物の平均点が大幅に下がるなど、思考力・読解力・複合的な情報処理能力がより問われる出題となりました。

また総合型・学校推薦型選抜では、志望理由書や小論文、面接に加え、総合思考力問題や教科の口頭試問など、高校での基礎学力を図る

試験が増加傾向です。

難関大学に合格を勝ち取った生徒の共通点は「高校入学後の早い段階で、なりたい職業や学びたい学問、行きたい大学といった将来ビジョンを描いていたこと」です。早期に目標が定まることで、ゴールから逆算した計画・行動ができます。また「自己管理能力が高いこと」も挙げられます。多くの生徒が3年間皆勤を貫きました。起床・学習開始・就寝時間の三点固定と言われていますが、日々の学習習慣・生活リズムを整えることで心身も安定し、学力向上につながったものと思われま。今後も保護者の皆様のご協力を得て、進路目標の達成へつなげていきたいと思います。(進路指導課長/佐々木 恵)

国立大学

大学名	合格
帯広畜産大学	1
北見工業大学	3
北海道教育大学岩見沢校	1
北海道教育大学釧路校	1
北海道教育大学函館校	1
室蘭工業大学	1
弘前大学	4
岩手大学	21
SGU 東北大学	2
秋田大学(医学部医学科)	1
秋田大学(医学部以外)	1
山形大学	1
SGU 千葉大学	1
お茶の水女子大学	1
SGU 東京大学(文科二類)	1
東京学芸大学	3
SGU 東京工業大学	1
一橋大学	1
新潟大学	3
信州大学	1
国立大学計	50

公立大学

大学名	合格
釧路公立大学	4
青森県立保健大学	1
岩手県立大学	16
SGU 会津大学	1
前橋工科大学	1
都留文科大学	1
長岡造形大学	1
金沢美術工芸大学	1
和歌山県立医科大学(薬学部)	1
公立大学計	27

国立大学校

大学名	合格
防衛医科大学校(看護・技官)	1
国立大学校計	1

国公立大計

国公立大計	78
-------	----

私立大学

大学名	合格
札幌大学	4
札幌学院大学	1
札幌国際大学	1
北海道医療大学	2
酪農学園大学	2
SGU 日本医療大学	1
八戸工業大学	4
青森中央学院大学	1
岩手医科大学(医学部)	1
岩手医科大学(医学部以外)	13
富士大学	5
盛岡大学	36
岩手保健医療大学	3
石巻専修大学	1
東北学院大学	16
東北工業大学	12
東北福祉大学	4
東北医科薬科大学	4
宮城学院女子大学	5
仙台白百合女子大学	2
東北文化学園大学	5
尚絅学院大学	3
東北芸術工科大学	3
奥羽大学	2
東日本国際大学	1
福島学院大学	1
国際医療福祉大学	2
作新学院大学	1
上武大学	1
SGU 東京福祉大学	2
埼玉工業大学	4
城西大学	1
駿河台大学	1
聖学院大学	1
SGU 東京国際大学	1
明海大学	1
白百合大学	1
東都大学	2
国際武道大学	2
千葉工業大学	2
東京歯科大学	1

秀明大学	1
青山学院大学	1
亜細亜大学	1
桜美林大学	3
北里大学(獣医学科)	1
北里大学(獣医学科以外)	2
SGU 慶応義塾大学	1
工学院大学	1
国学院大学	1
国士舘大学	1
駒澤大学	3
SGU 芝浦工業大学	2
成蹊大学	1
成城大学	2
聖心女子大学	1
大東文化大学	2
中央大学	3
津田塾大学	2
帝京大学	4
帝京平成大学	1
東海大学	6
東京電機大学	1
東京農業大学	2
東京理科大学	2
SGU 東洋大学	5
日本大学	4
日本歯科大学	1
日本体育大学	2
SGU 法政大学	5
武蔵野大学	1
SGU 明治大学	2
SGU 立教大学	2
立正大学	1
SGU 早稲田大学	3
神奈川大学	1
神奈川工科大学	1
関東学院大学	3
鶴見大学	1
フェリス学院大学	1
松蔭大学	1
横浜創英大学	1
新潟医療福祉大学	1
常葉大学	1

人間環境大学	1
京都女子大学	1
同志社大学	2
SGU 立命館大学	2
大阪歯科大学	1
関西大学	2
近畿大学	2
兵庫医療大学	1
川崎医科大学(医学部医学科)	1
日本経済大学	1
私立大学計	252

私立難関大学計

私立難関大学計	25
---------	----

※早慶上理・GMARCH・関関同立の数です。

スーパーグローバル大学計

スーパーグローバル大学計	28
--------------	----

※SGUはスーパーグローバル大学の略称です。

四年制大学計

四年制大学計	330
--------	-----

※大学合格には過卒・単位制の人数を含みます。

公立短大

公立短大	9
------	---

私立短大

私立短大	3
------	---

短期大学計

短期大学計	12
-------	----

公立専門校

公立専門校	7
-------	---

医療系専門学校

医療系専門学校	13
---------	----

一般専門学校

一般専門学校	42
--------	----

専門学校計

専門学校計	62
-------	----

公務員

公務員	9
-----	---

民間就職

民間就職	8
------	---

就職計

就職計	17
-----	----

授業参観(互見授業)週間を通して

今年4月の入学生より年次進行で新学習指導要領が実施されるなど、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。とりわけ各教科や特別活動等を横断するカリキュラムの編成と、その実践を通した生徒の資質・能力の育成がより重視されています。各校において探究的な学びを推進するプログラムが独自に開発されているのはその好例です。

さて、令和という時代においても、授業の質を高めることは最重要課題です。そこで、本校では教職員の授業力向上を目的に、5月27日からの一週間を授業参観(互見授業)の期間とし

ました。実施にあたり、授業内容や方法(ICT機器等の活用など)、学習課題の設定や発問など、参観する際は明確な視点を持つよう促しました。限られた期間ではありましたが、教職員同士による忌憚のない意見や情報交換、振り返り等がなされたことで、今後の授業改善への契機となったように感じます。

教職員の授業力向上は生徒自身の主体的・対話的で深い学びへとつながります。そのことを念頭に置きながら、今後も授業の質を高めるような取り組みを進めてまいります。

副教頭 吉田 幸彦



編集後記

いまだに新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、先日開催された冬季五輪北京大会において本校から小林陵侑選手、小林潤志郎選手、谷地宙選手の名の卒業生が出場しました。その中でも小林陵侑選手が日本選手団第1号となる金メダルを獲得するなど活躍をし、私たちに勇気と感動を与えてくれました。生徒たちには金メダリストとの交流を通じて、夢への挑戦を続けてほしいと思います。

今回の発行にあたり、ご協力いただいた会報委員の皆様、ありがとうございました。